

## 第17 回JFマリンバンク全国大会を開催

JF全漁連、農林中央金庫は7月16日、第17回JFマリンバンク全国大会を東京・港区のザ・プリンスパークタワー東京で開催し、JF信漁連・県JF及びJF女性部等の関係者ら約150人が出席した。

冒頭、主催者を代表して岸 宏JF全漁連会長(代読・大森敏弘専務)が挨拶し、水産政策の改革について、「今年度は水産改革元年であり、我々はこの水産改革を自らの課題として、さらに必要な改革を進め、新たに始まった令和の時代とともに、漁業者の皆さんにとって明るい展望が拓けるように尽力していく」と述べた。さらに、JFグループの新たな運動方針について「水産政策の改革を踏まえ、JFグループが一丸となって浜の未来を切り拓き、漁業・水産業の成長産業化に向けた改革を実践していく内容にしたい」と語った。

また、信用事業について「総合事業体の一翼を担うJFマリンバンクの機能発揮に向けて、浜プランや異業種連携への取り組み支援を行うなど、地域漁業や漁村の活性化に取り組んでいくことが重要。JF全漁連としても、浜を支える皆さまを全力でサポートしていく」と述べた。

奥 和登農林中央金庫理事長は、JFマリンバンクが今年度から取り組んでいる新しい中期戦略について報告し、「漁業金融機能を強化し、持続可能なビジネスモデルを構築することを目指す姿に置き、漁業者の所得向上・安定化を図っていききたい。金庫としても『一体的事業運営』のもと、皆さまのアクションプランを後押しする効果的な全国施策を検討・実践するとともに、一体となってプランの実現に取り組んでいく」と挨拶した。

國分豊子JF全国女性連会長の祝辞に続いて、北海道から沖縄までの地域推進功労者50人に感謝状が贈呈され、功労者を代表して、森 義文JF湧別参事がお礼の言葉を述べた。

その後、JFマリンバンクの事業推進に関する事例紹介では、齋藤行浩JF静岡信漁連業務部長が用宗地区の地域発展に向けた取り組みを、浜の活力再生プランに関する事例紹介では、吉村寿敏JF糸島参事(福岡県)が2018年度の「浜の活力再生プラン優良事例表彰」で農林水産大臣賞を受賞した取り組みについて紹介した。

大会を締めくくる大会宣言では、上原睦夫JF渡名喜村組合長(沖縄県)が大会宣言を読み上げ、満場一致で採択された。

閉会後には、流通経済研究所の折笠俊輔農業・地域振興研究開発室長による記念講演が行われた。